

う
し
お
会
会
報第 9 号
昭和49年 6 月 3 日
発 行
う し お 会新会長に高橋さん
(七期)

第九回総会開かる

恒例のうしお会総会も
今回で九回目を迎えるこ
とができました。今回の
総会は昨年までと多少趣
向を変えまして6月3日
(月曜日)午後6時15分
から、横須賀文化会館大
ホールで開会することに
致しました。

これは今まで5月の最
終日曜日の午後1時頃か
ら開会していたものを、
ウィークデーの晩、つま
り、皆様が会社を終え、
また学校を終えて帰宅す
る時間に合わせまして、

より多くの会員の方々が
参加しやすい様に、会長
はじめ全幹事で考えて、
日時、場所を変えたもの
です。

さて、今年度の役員は
下記の通りですが、新会
長になられました高橋さ
んは昨年度は広報をやら
れた7期生で、また新副
会長や他の役員も7期生
から9期生が多く、かな
り若がえりを試みた役員
改選と言えます。しかし
若がえり人事のために、
そのアドバイザーとして

前会長でありました4期
生の石井さんが、会計監
査として、また前副会長
でありました4期生の山
下昭文さんも役員として
残り、後輩の御指導に当
たられることになりました。
今、うしお会創立十周
年を目前として、幹事、
役員皆努力致しておりま
す。
会員の皆様の御理解と
御協力をお願いいたしま
す。

四十九年度

うしお会役員

(カッコは期別)

会 計 監 査	広 渉 報 外	会 計	書 記	副 会 長	会 長
鈴木由紀子(五)	石井 恭一(四)	横原美知子(九)	松橋 清晴(八)	山下 昭文(四)	藤田 洋敏(七)
					塚原 茂男(六)
					望月 孝之(七)
					小滝 玲子(八)
					池谷 研一(七)
					高橋 洋(七)

新 幹 事 紹 介 (第9期生)
(カッコは組別)

柳 都 江	永 沢 繁	梶 田 立	池 谷 則	笠 原 美代子	横 原 美知子	佐 藤 良洋	山 田 恵美子	岡 部 俊輔	古 屋 悦子	所 隆一	菊 池 三保子	塩 川 厚清	宮 里 子	大 井 慎一
(八)	(八)	(七)	(七)	(六)	(五)	(五)	(四)	(四)	(三)	(三)	(二)	(二)	(二)	(二)

総 会 プ ロ グ ラ ム

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 名誉会長挨拶
4. 行事報告
5. 会計及び会計監査報告
6. 新役員紹介及び承認
7. 新会長挨拶
8. 閉会の辞

なお、当夜、追高プラスバ
ンドOB会の楽しい演奏を
も、予定しております。

48年度 決算報告

収入の部	1,928,656-
前年度よりの繰越及び利息	1,013,656-
9回生会費	915,000-
合 計	1,928,656-
支出の部	1,120,210-
総会関係費用	741,707-
(名簿・会報・案内状印刷作成費・ 郵送費・模擬店他・雑費)	
幹事会、役員会等費用	40,430-
通信連絡費	50,583-
母校への援助寄贈	25,000-
記念品、餞別(先生方8名)	109,000-
その他	133,490-
(幹事研修会、渉外関係、事務消耗 品、御見舞他)	
合 計	1,100,210-
差引残高	828,446-

上記のとおり報告致します。

48年度会計 塚原茂男 吉橋邦江

上記のとおり相違ありません。

48年度会計監査 清水健一 金子邦枝

新会長からの

メッセージ

高橋 洋

今年も我等うしお会は
9期生の新会員を迎え、
さらに一段と充実発展し、
6月3日(月曜日)には、
第9回目うしお会総会を
開くことになりました。
また来年はうしお会も10

才の誕生日を迎えること
になりました。
そのうしお会創立10周
年を祝って、来年は相当
盛大な総会を開く予定で
あります。
今年はそのための準備

期間であり我々役員も諸
先輩方と、話を煮詰めて
おります。
そして去年まで5月の
最終日曜日に予定してお
りましたうしお会総会を、
今年は多少ずらしまして、
日曜日に開かず、会社が
終業した学校が終り、
帰宅する時間に合わせま
して、できるだけ多くの
会員の方々に出席して頂
くためにウィークデーの

48年度 うしお会 行事

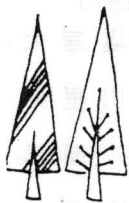
- | | |
|-----------|----------------------|
| 48. 5. 13 | 幹事会(総会準備) |
| 5. 27 | 第8回総会 |
| 6. 12 | 芸術鑑賞会
(文楽教室)援助 |
| 6. 24 | 幹事研修会
(総会反省会も兼ねて) |
| 9. 18 | 文化展示会及び
運動会援助 |
| 49. 1. 5 | 新年幹事会
(総会計画等) |
| 3. 3 | 幹事会
(総会名簿発行準備) |
| 3. 31 | 幹事会
(総会名簿発行準備) |
| 4. 21 | 幹事会
(〃, 役員改選等) |

夜を総会の日に当てまし
て、横須賀市文化会館大
ホールで母校であります
追浜高校のプラスバンド
OB会を迎え開会する運
びとなりました。
皆様御承知の通り、う
しお会は毎年四百名前後
の新会員を迎えておりま
すが、収入は毎年その方
々の入会金だけでですので、
財政は年ごとに悪化して
おります。そのためにい
よいよ会員名簿の全員無
料配布は困難な状態にな
り、今年からは新会員の
方々への名簿だけにあり、
1期生から8期生の会員
への名簿の配布が不可能

になりました。

なお10周年である来年
には何らかの方法で名簿
を作製致したいと思いま
すので、御承知おき下さ
い。

今後のうしお会の発展
のために我々役員はじめ
各幹事とも頑張りますの
で会員の方々の御支援、
御協力の程をお願い申し
上げます。



職 場 紹 介

千代田生命

直轄営業部

四期 石井恭一

日本における生命保険の歴史は、アメリカから帰った福沢諭吉が「西洋旅案内」の中で紹介した時から始まります。その

福沢諭吉の高弟・門野幾之進は、慶応義塾の教頭を20年在任後、辞して、明治37年4月5日「千代田生命保険相互会社」を創業しました。

70年代は、わが国が、生産第一主義の高度成長国家から、人間尊重の福祉国家への転換を計る時福祉社会の国づくりの機運が高まっています。

そのテーマである環境問題・老人福祉・核家族など、どれひとつ取りあげても、直接・間接的に生命保険に関係をもたないものはありません。

千代田生命は、創業のころ「人間尊重」を70年間つらぬいて来ました。申すまでもなく「福祉」は「人間尊重」を原点とするものです。一億の悲願であり、国是でもある福祉国家の樹立に対して、千代田生命はその先達者として、重い使命が課せられています。

しかし、福祉国家樹立のためには、旧態依然とした組織では不十分です。そこで、経営組織を一新するために、将来の営業幹部養成を目的として、3年前に、直轄営業部が創設されました。

東京都京橋にある千代田生命直轄営業部には、現在百余名の若者が特別専修生として、3年間の研修に励んでいます。そして、すでに第一期生は今年営業管理職となってこの直轄営業部を巣立っていきました。

3年間の研修期間中に生命保険はもちろんのこと、損害保険や社会保

障等の専門的知識を身につけ、また、セールスの実技や部下の指導能力の養成を行います。したがって、かなり酷しいスケジュールとなつていきます。しかし、皆活気にあふれ、充実した日々をおくっています。

生命保険にはダイヤモンドの輝きもなければカラーテレビの便利さもありません。

しかしこの目にみえない商品には人間の血が通っています。人間の未来のはかない望みがこめられています。

お金で愛情をあがなうことは出来ません。けれどもお金に愛情をこめることは出来ます。

もし愛するもののためにお金が使われるならば

(谷川俊太郎詩集より)

藤井先生

本校定時制

教頭先生に

このたび、藤井先生をはじめとして、次の先生方が本校を去られることになりました。ここに感謝の意を表し、今後の御活躍をお祈り申し上げます。

藤井澄三郎先生

本校定時制教頭先生に

富岡正明さん

大船技高校へ

山本弘二先生

市ケ尾高校へ

森本幹雄先生

商工高校へ

村上裕先生

横須賀大津高校へ

下山真先生

川崎北高校へ

利根川勇先生

平塚商業高校へ

小熊光子さん

立野高校へ

大滝久仁子さん

大和高校へ

なお、伊藤(旧姓吉田)

多江先生は、昨年めでたく双生児を出産され、育児専念のため、昨年度いっぱい退職されました。

そして新たに本年度より次の先生方をお迎えいたしました。

尾崎実先生(化学)

逗子高校より

中崎寿人先生(物理)

大和高校より

上田博志先生(日本史)

三崎水産高校より

岸孝明先生(世界史)

新採用

宮本利行先生(国語)

鶴ヶ峰中学校より

鈴木泰則先生(国語)

宮城県立村田高校より

萬俣好明先生(国語)

新採用

永野忠行先生(体育)

新採用

村上ミツエ先生(体育)

新採用

中田寿美子さん(事務職)

横浜技高校より

◎ 追校入学した途端、野球部入部。以来三年間数々の障害にもめげず活動をやり通すこの気丈。その所以か大学合格。「正義の味方〇〇」と言いたい程の好青年で坊主頭をどうかしてれば？ という日本男子とは、大井慎一君。

◎ やさしく、しとやかで話した。背は低くやせて、さらにはいない美人。と言えとの本人の希望だが全く逆に考えていただければ話しは早い。「気が進まず浪人する。」とは、これまた本人の希望という彼女は謙尊のじょうずな、ミス・ユーモア宮里厚子さん。

◎ チョットしたことでは、ビクともしない背が大きく、気が大きい、いつもニコニコしている彼は、皆んなのお父さん役、いえ、まとも役でした。そんな彼ですから、一年間一歩一歩じっくり新しい道に向かってがんばるでしょう。その名は塩川君。

◎ 菊池三保子さんは、生

徒会活動においてかかせない一人でした。将来総理大臣になるとか、との噂もチラホラ。言うなれば「立て板に水」のような、さわやかな弁舌の持ち主です。新しい活動の場でも、頑張ってくれるでしょう。

◎ 中学では柔道、高校では剣道と武道の真随を貫ぬいているのが所隆一君です。「精神一到何事か成らざらん」とバイタリティあふれた好青年です。

◎ 古屋悦子さんは時代錯誤の人。クラスの中で一人、

チョンマゲを結っておりました。フェリス女学院で、他校の男子を悩殺する術を習い現代美人復活をもくろんでいるとか。

◎ クラスの中では、余り目立ちませんが、気がつく、そこに座っている様な男の子が岡部俊輔君です。毎日帽子をかぶって通学し

ていた姿は学生の中の学生とでも言いましょうか。「もっと、お話がしたかったな」と思っていた女の子も少なくなかったのでは？

◎ 「女のくせにのっぼで大声で笑って人のためらう事も平気でやっている間に皆に名前を知られ、クラブでは、バトンと茶道部の部長を兼ねていた様に、静と動が奇妙に混ざり合った人

れません。

◎ ちっちゃくて、マルくって、三角で食べてみたいのですけれど強烈な毒を持っているので、バドミントン部でその毒を発散、発散された毒に当たって何人の男子が、よろめいたであります。未だ毒が消えずにこまり、女性のメッカ青学短大で女の道を行くのは横原美知子さん。

新 幹 事 の プ ロ フ ィ ー ル

間で「三年になって真面目になった。」などとすばらしい噂が飛んでくるとい

さんです。

◎ 「俺の送って来た高校生活とは、一体何だったんだろう」と本人は悩んでいます。が、回りにいる人にとって、実行力・積極性があり情熱家の佐藤良洋君は、あこがれの的だったかもし

◎ 「赤い鳥

のレコードに涙を流し、時にはクラッシュクも聞くという美青年？ ちまたでは「彼が」とい

う、笠原豊君。

◎ 高校に入ってから始めたテニスに命をかけて三年間、みごとにやりぬき、勉強の方も、その余力をかけて頑張ったスパーウーマン、授業中先生にさされ、

クラスに「大入」の礼をかけた、今は中央大の池田美代子さん。

◎ 「大地は人間に対して、多少なりとも、やさしさをみせることがある。しかし、海は空に似て情け容赦なく戦いを挑んでくる。人生、荒海に船を浮かべず、大地のやさしさに浸ってはならないと痛感している現在である。」と語っているのは梶谷則行君です。

◎ 中学、高校時代とクラブ活動は野球という永田立夫君は「高校三年間で印象に残ったことはクラブだけ。」という大のスポーツマン。外見はおとなしそうな彼の内に秘めた力はいつも選抜試合で発揮して私達を喜ばせてくれました。

◎ 簡単に言えば、徹底的な猛烈社員タイプである反面、これまた徹底的なマイホーム主義者でもあるという柳江耕君、今年日大に合格きつとその本領を発揮して、さらに磨きをかけてくれると思われる努力家さんです。